

平成 21 年 2 月 9 日

各 位

会 社 名 エンシュウ株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 中安 茂夫  
 (コード番号 6218 東・名証 各第1部)  
 問合せ先 専務取締役管理本部長  
 千賀 伸一  
 (TEL053-447-2111)

## 営業外費用(為替差損)の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社において、下記のとおり営業外費用(為替差損)が発生することとなりましたので、その概要をお知らせするとともに、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 11 月 12 日に公表しました平成 21 年 3 月期(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)業績予想を下記のとおり修正しますのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 営業外費用(為替差損)の発生及びその内容

最近の急激な円高による影響により、主に海外連結子会社に対する売上債権等に関連して 400 百万円の為替差損が発生することとなりました。

#### 2. 業績予想の修正

##### (1) 平成 21 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

|                             | 売上高    | 営業利益  | 経常利益   | 当期純利益  | 1株当たり<br>当期純利益 |
|-----------------------------|--------|-------|--------|--------|----------------|
|                             | 百万円    | 百万円   | 百万円    | 百万円    | 円 銭            |
| 前回発表予想(A)                   | 47,000 | 750   | 470    | 50     | 0 79           |
| 今回発表予想(B)                   | 40,500 | 120   | △580   | △1,000 | △15 79         |
| 増減額(B-A)                    | △6,500 | △630  | △1,050 | △1,050 | —              |
| 増減率(%)                      | △13.8  | △84.0 | —      | —      | —              |
| (ご参考)前期実績<br>(平成 20 年 3 月期) | 45,419 | 43    | △655   | △2,948 | △46 53         |

##### (2) 平成 21 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

|                             | 売上高    | 営業利益   | 経常利益   | 当期純利益  | 1株当たり<br>当期純利益 |
|-----------------------------|--------|--------|--------|--------|----------------|
|                             | 百万円    | 百万円    | 百万円    | 百万円    | 円 銭            |
| 前回発表予想(A)                   | 45,350 | 510    | 220    | △120   | △1 89          |
| 今回発表予想(B)                   | 39,900 | 0      | △700   | △1,040 | △16 42         |
| 増減額(B-A)                    | △5,450 | △510   | △920   | △920   | —              |
| 増減率(%)                      | △12.0  | △100.0 | —      | —      | —              |
| (ご参考)前期実績<br>(平成 20 年 3 月期) | 42,246 | △729   | △1,294 | △3,154 | △49 79         |

#### 3. 業績予想修正の理由

米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融危機が急速に実体経済へ影響を及ぼすこととなり、当社グループの経営環境もさらに厳しさを増しております。このような状況の中で各事業部門とも顧客の需要は前回の予想よりさらに減少してきており、工作機械関連事業部門及び輸送機器他関連事業部門ともに、売上高・営業利益が前回発表値を下回る見込みとなりました。また、経常利益・当期純利益につきましても、急激な円高による為替差損の影響により前回発表値を下回る見込みとなりました。

以上により、前回公表の連結及び個別の通期業績予想につきまして、それぞれ上記のように修正いたします。

#### 4. その他

上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により異なる可能性があります。

以 上